

令和2年度「新宿区第三次環境基本計画」の進捗状況報告について

1 概要

平成30年2月に策定した「新宿区第三次環境基本計画」では、計画の進行管理にあたり、毎年度「新宿区環境白書」を作成、配布し、区のホームページでも公開して実効性を担保することとしています。

今回、令和2年度の「新宿区環境白書」に基づき、環境審議会に「新宿区第三次環境基本計画」の進捗状況をご報告するとともに、点検・評価をしていただくため、平成29年度から令和元年度までの実績をとりまとめました。

基本目標の体系図

地域資源を活かし、区民・事業者・区が一体となつてつくる
持続可能な環境都市・新宿

基本目標

個別目標

1 地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の推進

- 1 再生可能エネルギーの活用とエネルギー利用の効率化の推進
- 2 家庭及び職場の省エネルギーへの取組を支援し、環境に配慮したライフスタイルへの転換の推進
- 3 ヒートアイランド対策の推進

2 豊かなみどりの保全と創出

- 1 まちなかのみどりの保全と創出
- 2 水やみどりに親しめる環境づくり

3 資源循環型社会の構築

- 1 ごみの減量とリサイクルの推進
- 2 適正なごみ処理の推進

4 良好な生活環境づくりの推進

- 1 きれいなまちづくりの推進
- 2 都市型公害対策の推進

5 多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進

- 1 主体的な環境活動とネットワーク化
- 2 環境学習の推進

2 基本目標毎の主な実績

基本目標1 地球温暖化対策・ヒートアイランド対策の推進	
個別目標1-1	再生可能エネルギーの活用とエネルギー利用の効率化の推進
個別目標1-2	家庭及び職場の省エネルギーへの取組を支援し、環境に配慮したライフスタイルへの転換の推進
個別目標1-3	ヒートアイランド対策の推進

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
温室効果ガス（二酸化炭素）排出量（平成25年度比）	11.4%削減 （平成27年度）	13.1%削減 （平成28年度）	13.8%削減 （平成29年度）	24%削減 （令和12年度目標）

省エネルギー行動の定着や電力供給時の二酸化炭素排出係数の改善により、順調に削減しています。今後も、国の動向や二酸化炭素排出係数等を注視しながら目標達成に向けて取り組んでいきます。

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
「新宿の森」でのカーボン・オフセット事業によるCO2吸収量	421.05t-CO2	363.75t-CO2	346.85t-CO2	1,350t-CO2 （平成30年度～令和2年度の計）

年間の目標値の約8割の達成度となっていますが、一定の成果を上げていると評価します。森林整備施業地の状況により年度毎の増減がありますが、今後も効果的・効率的な森林整備が継続できるよう、長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市と協力して取り組んでいきます。



<新宿打ち水大作戦>



<伊那市での自然体験ツアー>

その他の指標の達成状況

- ・指標「街路灯の改修」については平成30年度に小型水銀灯のLED化が完了しました。今後は、小型蛍光灯のLED化や大型街路灯の省エネ化に順次取り組んでいきます。
- ・指標「中小事業者向け省エネ対策支援事業者」については、目標件数である10件/年を達成することができました。今後も継続して実施していきます。
- ・指標「遮熱性塗装の整備面積」については、令和元年度は1,877㎡を整備するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組として、5,794㎡を整備しました。
- ・指標「緑被率」については、令和2年度に実施を予定している「新宿区みどりの実態調査（第9次）」の結果を踏まえつつ、公共施設のみどりをより一層増やしていくとともに民有地の貴重なみどりを残すことで、歩きながら目に見える緑などを増やすような働きかけを行っていきます。

基本目標2 豊かなみどりの保全と創出

- 個別目標2-1 まちなかのみどりの保全と創出
- 個別目標2-2 水やみどりに親しめる環境づくり

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
公園面積の目標	117.61ha	117.28ha	117.41ha	新たに2haの公園面積を確保（令和9年度目標）

令和元年8月に、「中根坂東公園」を新設し、公園面積が増加しました。今後も第三次環境基本計画とみどりの基本計画で連携して目標達成に向けた取組を進めていきます。

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
神田川親水テラスの年間利用者数（一般開放時）	1,802人	1,183人	1,648人	2,000人（令和9年度目標）

神田川を中心に水辺の環境整備や小学校でのビオトープづくりを通じて、生物多様性に配慮した環境づくりなど、人と自然とのふれあいの場の創出に努めました。夏には、神田川の親水テラスを一般開放し、多くの区民の方に川に入る体験を提供しています。今後も、引き続き多くの方に利用していただけるよう幅広い周知に努めます。



<みどりのカーテン>



<神田川親水テラスの開放>

その他の指標の達成状況

- ・指標「緑視率」については、公共施設や民有地での緑化指導や生物多様性に配慮したみどりづくり等を推進し、積極的なみどりの創出・拡充に努めました。
- ・指標「みどりのカーテン新規設置数」については、令和元年度は322枚となり、目標を達成しました。9回の育成説明会を実施するとともに、小学生の親子を対象とした「みどりのカーテン親子育成講座」も4回実施することで、好評を得ることができました。

基本目標3 資源循環型社会の構築

個別目標3-1 ごみの減量とリサイクルの推進

個別目標3-2 適正なごみ処理の推進

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
区民一人1日あたりの区収集ごみ量	572 g	560 g	555g	484 g (令和9年度目標)

前年度と比較すると5g(0.9%)減少しました。今後のごみの減量や資源化への新たな取組を検討し、持続可能な資源循環型社会を目指します。

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
資源全体に占める不燃ごみから回収した資源の割合	0.7%	0.6%	0.8%	0.6% (令和2年度目標)

前年度に比べ増加しており、さらなる啓発が必要と考えられます。

今後も、資源循環型社会の構築に向け、ごみの発生抑制と資源回収の推進に取り組んでいきます。



<広報用に作られたごみ収集車>



<資源回収ステーション>

その他の指標の達成状況

- ・指標「新宿エコ自慢ポイント登録者数」については、令和元年度は3,385人で令和2年度の目標値に近づいています。今後も、交通系ICカードによるポイント登録など新たな仕組みにより、登録者の増加を目指します。
- ・指標「ごみの減量やリサイクルに取り組む区民の割合」について、区政モニターアンケート結果によると、リサイクルに関する何らかの取組を行っていると回答した区民が99.4%と、前年度(99.2%)から取組率が向上し、ごみ減量・リサイクルの意識が高いと認められます。

基本目標4 良好な生活環境づくりの推進

個別目標4-1 きれいなまちづくりの推進

個別目標4-2 都市型公害対策の推進

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
駅周辺・生活道路での路上喫煙率	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1% (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)	0.1%未満 (駅周辺) 0.5%未満 (生活道路)

駅周辺は0.1%とほぼ目標を達成しており、生活道路でも0.5%未満と目標値を達成しています。

令和2年4月に全面施行された改正健康増進法の影響や、路上喫煙禁止が周知されることに伴い、受動喫煙に対する意識が高くなり、これまで以上に対策の徹底が求められているほか、公衆喫煙所の利用者も大幅に増加していることから、公衆喫煙所周辺の喫煙マナーの向上や、公衆喫煙所の改善が求められています。

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
環境基準100%達成 (各年度調査)	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	大気中のオキシダント濃度、河川水質の一部及び自動車騒音の一部を除き、環境基準達成	100%達成 (令和9年度目標)

区内の大気汚染状況の中で、環境基準が定められている6種類の大気汚染物質及びダイオキシン類のうち、光化学スモッグの原因となるオキシダントについては、環境基準を達成できていません。新たな環境問題にも目を配りながら、今後も継続して監視測定を続けていきます。



<新宿駅西口公衆喫煙所 (令和2年4月開設)>

<四谷自動車排出ガス測定局>

その他の指標の達成状況

- 指標「自転車シェアリングの利用実績」については、長雨や荒天等により1.75回転/日と、令和9年度の目標である4回転/日を達成していませんが、引き続き、広域連携する各区や事業者と協力し、サイクルポートの設置等を進め、利便性の向上を図っていきます。
- 指標「苦情処理の対応満足度」については、公害に関する相談が区民の生活様式の多様化に伴い、複雑化・高度化しています。令和元年度の対応満足度は86%となっており、前年度(66%)に比べて高い値となりました。今後も区民からの要望に対し迅速かつ的確な対応に努めていきます。

基本目標5 多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進

個別目標5-1 主体的な環境活動とネットワーク化

個別目標5-2 環境学習の推進

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
新宿エコ隊登録者数	5,200人	5,444人	5,853人	6,000人 (令和2年度目標)

令和元年度は、第一次実行計画の目標である5700人を達成することが出来ました。「新宿エコ隊」へ登録することで、区民が日常生活において省エネに取り組み、地球温暖化防止につなげていく機会になると考えています。

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標
環境問題・環境教育への理解・関心度	95%	96%	97%	90% (令和2年度目標)

環境活動への参加促進や環境への意識啓発を図るためには、次世代を担う子どもたちへの環境教育の充実・強化を行うとともに、区民が環境を学べる機会等の積極的な提供を行うことが重要です。



< “新宿エコ隊”の隊員証 >



< まちの先生見本市! >

その他の指標の達成状況

・指標「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」については、区政モニターアンケートの結果により目標どおり取組率が向上していると考えています。今後も引き続き、区民の取組を支援することで取組率の向上につなげていきます。

・指標「環境絵画・環境日記展の応募者数」については、1,188名の応募があり、多くの小中学生に対し環境への意識を高めるなどの学習効果を得ることができました。